

152 馬ゲタウイルス病

担当	検査チャート
家畜保健衛生所	
病性鑑定施設	<p>(5) 抗体検査 &lt;HI 反応&gt;</p> <p>(6) ウイルス培養試験 &lt;培養細胞接種試験&gt;</p> <p>(7) 動物接種試験</p> <p>(8) 病理組織検査</p> <p>(+) (-) (+) (-) (+) (-)</p>
判定・結果	<p>(+) (-) (+) (-) (+) (-)</p>
最終判定	<p>抗体検査と併行してウイルス培養試験を実施する。</p>
その他	

## →類似疾病検査

141 流行性脳炎(日本脳炎)

○ 病原体:ゲタウイルス;Getah virus [*Getah virus*, *Alphavirus*, *Togaviridae*]

### (1) 疫学調査

- ① 夏期～秋期(7～10月)にかけて発生する。
- ② 年齢に関係なく発生する。

### (2) 臨床検査

- ① 発熱
- ② 発熱後5～7日目に頸、肩、臀部に突然に米粒～大豆大の発疹を認めることがある。
- ③ 四肢の下脚部に冷性浮腫を伴うことがある。
- ④ 体表リンパ節の腫大

### (3) 剖 検

- ① 脳膜のうっ血
- ② 発疹部のリンパ管の拡張、リンパのうっ滞
- ③ リンパ節の腫大
- ④ 筋肉および臓器の湿潤感

### (4) 血液検査

一過性の白血球の減少

### (5) 抗体検査(HI反応)

ペア血清について実施

### (6) ウイルス培養試験(培養細胞接種試験)

培養細胞:Vero細胞、RK-13細胞

接種材料:血液(血漿)、鼻腔ぬぐい液、リンパ節乳剤

培養方法:37℃で回転または静置培養

成績:CPEの確認(2～4日)(CPEの出現しないものは盲継代)

同定:培養液のHAの確認

交差HI試験、交差中和試験

### (7) 動物接種試験

動物:乳のみマウス(24時間以内)

接種材料:血液(血漿)、鼻腔ぬぐい液、リンパ節乳剤

方法:材料を乳のみマウスの脳内に接種

成績:3～14日で発症死亡

(症状の明確でないものは盲継代し発症したマウスの脳乳剤をMA-104細胞またはVero細胞に接種。陽性の場合にはCPEの発現)

同定:組織培養液のHAの確認

交差HIまたは交差中和試験

### (8) 病理組織検査

- ① 真皮層の水腫、リンパ球および好酸球の浸潤、ときに出血巣
- ② リンパ節の洞内にリンパ球の充満
- ③ ときに脳における囲管性細胞浸潤